

中建日報

発行所
中建日報社
広島市中区十日市町2-1-8
〒730-0805 TEL (082) 297-7111(代)
FAX (082) 297-7112
https://chuken-news.com/
E-mail: info@chuken-news.com
購読料1ヶ月 8,950円

© 中建日報社 2019



ERIグループは、

建築確認、住宅性能評価の
リーディングカンパニーとして、
時代とお客様のご要望に
お応えするグループ体制を
展開しています。

https://www.j-eri.co.jp

建築設備士の重要性などPR

次世代技術者のための講演会

設備技術者
協会中国
支部



ルで公告した。

単体、または2社以上の共同企業（コンソーシアム）を対象に、参加表明書を12月20日から来年1月10日まで受け付ける。実績審査の通過者には、同2月28日を期限に技術提案書の提出を要請し、ヒアリングなどを経

参加要件は、設計、施工を兼ねた単体企業、または設計、施工企業の2社以上で構成するコンソーシアム。

主要資格をみると、設計は公的資格、設計が0.7億円程度、工事が13.2億円程度を見込んでい

建築設備技術者協会中国・四国支部（佐藤大三支部長）は11月29日、広島市中区の広島市文化交流会館で「次世代技術者のための講演会」を開催した。学生や企業関係者約100人が参加した。講演会は「若手技術者たちへ」をテーマに、日暮伸一氏が「建築設備技術者としての重要性」について講演した。日暮氏は、建築設備技術者としての重要性を述べ、設計が0.7億円程度、工事が13.2億円程度を見込んでい

（旬）栗栖工業

西村 真人さん



目標は、1級とび技能士の資格取得や登録篤土工基幹技能者。1997年11月13日生まれ。

技能五輪全国大会とび職種で金賞 安心して仕事任される職人に

見て自分も出場して賞が取りたいと思っていた。参加を勧められた時は金更新へのチャレンジでもあり、代足場ファステックや吊あるので、重大な責任を中盤でも周囲の選手が気づき練習に没頭した。そに。自分を取り戻した現場で組み立て解の練習では、速さと正確すに無駄な時間を使い、体を行っており今後いさ、安全性を最優先にし課題が完成した時には大会の経験を先輩にた作業手順は、日頃の現裕を失っていた。2日目伝えていきたい。また、こ場作業での気の使い方の解体競技では、初日の仕事が好きでもっとは違つのでかなり神経を失態を挽回するために、まくなりたと思つて使った。基準柱の建て方安全最優先で素早く動き、安心して仕事を任せや番線止め、釘打ちなど1番最初に競技を終えるてもらえるとび職人にな全てに苦労した。また後 よう自分に言い聞かせなりたい」と抱負を語った。戻りがないように、手順がら頑張った。そのた

分の技量が評価されるだ中した。組み立て競技がた。そのことに心から感けでなく、これまでの先始まった瞬間、頭が真っ白謝している」と述べた。輩たちが築いてきた記録になりかけ、自分のペー西村さんは現在、次世更新へのチャレンジでもあり、代足場ファステックや吊あるので、重大な責任を中盤でも周囲の選手が気づき練習に没頭した。そに。自分を取り戻した現場で組み立て解の練習では、速さと正確すに無駄な時間を使い、体を行っており今後いさ、安全性を最優先にし課題が完成した時には大会の経験を先輩にた作業手順は、日頃の現裕を失っていた。2日目伝えていきたい。また、こ場作業での気の使い方の解体競技では、初日の仕事が好きでもっとは違つのでかなり神経を失態を挽回するために、まくなりたと思つて使った。基準柱の建て方安全最優先で素早く動き、安心して仕事を任せや番線止め、釘打ちなど1番最初に競技を終えるてもらえるとび職人にな全てに苦労した。また後 よう自分に言い聞かせなりたい」と抱負を語った。戻りがないように、手順がら頑張った。そのた

【防府】「頭の中は金賞された第57回技能五輪全国のことしかなく、最初から大会とび職種に出場し見狙っていた。実際に受賞して 事金賞を獲得した栗栖工ホッとする気持ちと達成 業の西村真人さん(22歳)。感でいっぱい」と話すのは、とび職種の山口県代表として初めて金賞で8年11月に愛知県内で開催さして初めての金賞で8年



連続入賞記録を達成した。大会出場にあたっては

「弱い自分を変えたいと賞獲得しかならないと思っ思っていた時、出場に向けた」と述べ、続けて「不安落ちて着いて競技に挑もうとちが築き上げた成果が自など。技能検定実技試験を練習している先輩を や戸惑いもあったが、自と自分を抑えることに集分を金賞へと導いてくれ（とび作業）の運営に協力

全国で業務安全講習会 2月23日に広島で開催 DCA

ダイヤモンド工業業協同組合(DCA、赤羽弘秋理事長)は、来年1月12日から2月23日までの間、全国7会場で業務安全講習会を開講する。中国地区では、2月23日に広島オフィスセンター(広島市南区東荒神町)を会場にして催される。講習会は二部構成。第一部では、過去の切断穿孔工事における事故事例などをふまえて作成された安全作業教本(DCA発行)に基づいた安全衛生教育を実施。第二部は、「コンクリート等切断穿孔技術士作業教本」を教材にした講義内容で、4月18日・19日に行われ、技能審査試験受験者